



トレーラー修理

昨年末からトレーラーの修理を行ってまいりました！
 こちらのトレーラーは昭和59年式ですが修理後に塗装を行い、まるで新車のようにになりました(*^^*)
 このトレーラーの修理を通して改めて、お客様や取引先様に支えられていると感じました。
 今後も皆様との繋がりを大切に、お役に立てるよう精いっぱい努めますので、よろしくお願いいたします！



ツヤツヤ(*^ω^*)がトリ
 宇宙を感じると言ったら
 塗装を担当した長谷川さんは
 笑ってまいりました。..



2.14 バレンタインデー

バレンタインでしたね♪
 重機の黒澤常務からリポピタンド、
 岡田部長からチョコをいただきました(*^^*)
 甘いものを食べるとは事が捗りますね♪



チョコの種類一瞥を見て
 どれを食べようか悩む
 藤巻部長...



増子さん・中村さんが
 出張のお土産で、大沼団子を
 買ってきてくださいました！
 フシューワのように柔らかく
 とても美味しかったです(*^^*)

雪がたくさん降った日に
 つくった雪だるまです☆
 数日のいのちでした。
 また冬に大きいものをつくりたいです☆



編集後記

三和整備の干場です(*^^*)お正月・成人式・バレンタイン・ひな祭り...行事の多い日本ですね。毎日があっという間に過ぎて行き、気が付けば3月になりますね。年度末に近いこともあり、皆様もお忙しいと思いますが、お身体には十分に気を付けてお過ごしください(^-^)



吊りバカ通信

安全・安心・感動を提供し続けます。



”忘己利他の精神”

相手の事を考えて行動する

〒061-1102

北広島市西の里322番地6

株式会社三和重機

TEL 011-375-4444

FAX 011-375-4455

<http://www.sunwa-gp.co.jp>

株式会社三和整備

TEL 011-375-4477

FAX 011-375-4448

今月のヤード写真

天気が変わりやすい12月でしたが、撮影した日は、お天気が良かったです。ヤードでは、各自作業を行っていました。



今月のモグモグコーナー



今月ではないのですが、12月に、除雪に行くオペレーターさん達と『冬、除雪頑張ってるね。』の決起ランチ会を北広島島のほのかで行いました。その時、男性陣のみんなが食べたのが、『大鉢天丼！』すり鉢(高さ10.5cm幅24.5cm)に入った天丼です。すごいボリュームです!! 食べてる途中から、みんな、大食い大会のようになってました。



『ほのか』さんでは、食事のみでも、OKなので、ごはんを食べに行く時に、利用させていただいています。

みなさんも、ぜひ、おながが空いている時、チャレンジしてみてください。ちなみに、女性陣は、普通の定食やあんかけやきそばを食べました！美味しかったです。



今月のわんにゃんコーナー

梶原オペレーターから、ご自宅で『テレビを見ている にゃん太郎』という題名の写真が届きました。ぜひ、かわいい、にゃん太郎の姿を見て下さい♡ 目線はテレビです...♡



このソファでリラックスできるニャン。(=^・^=)

朝礼復活!!

2月の月間テーマ
『はじめ・区切りを意識して仕事に取り組もう!』



コロナで、約2年間中止となっていた、現場の皆さんとの朝礼を2月16日から復活し、行っております。身だしなみの確認や、質問に沿っての各自の考えの発表、昨日の仕事の中での気づき、日頃のありがとうを伝える場となっています。最後には、指差し呼称を3回行い、指差し呼称の習慣化に向けて取り組んでいます。



私たちが掲げた『安全スローガン』



基本を守って無事故・無災害
クレーンオペレーター 小野寺桂二さん



再確認を怠らない
クレーンオペレーター 山崎慶和さん



基本忠実に作業
クレーンオペレーター 佐藤弘昭さん



確認作業の徹底
(株)三和整備メカニク松浦秀幸さん

今月の打ち合わせ風景

クローラークレーンの解体についての打ち合わせです。営業担当からの指示事項とともに、最終確認を行います。



採用情報



- ・クレーンオペレーター
- ・ドライバー
- ・営業

私たちと一緒に働きませんか？

各社保完備、車通勤可、制服貸与、交通費規定支給
未経験者育成制度・資格取得制度
あります。お客様のお役に立ちたい、仕事を通してもっと成長したいという方にピッタリの会社です。



今月のあたまの体操



頭の右側が食べられたら
食べ物になりました。何になった？

前回のこたえ： としまけん

今月の寓話

～寓話から学ぶ～

二倍の願い

道を挟んで二軒の肉屋が商売をしていた。あるとき、一軒の肉屋の主人に神様がこう告げた。「お前の願いをなんなりと叶えてやろう」肉屋が自分の願いを言おうとしたとき、神様がこう続けた。「ちょっと待ちなさい。お前の願いはすぐに叶えてやるが、向かいの肉屋にはお前にやる二倍を授けてやることになっている。お前が一億円をくれと言うのなら、お前にすぐさま一億円をやる。ただ、同時に向かいの肉屋には二億円やることになる。よく考えてから、お前の願いを言いなさい」肉屋は困った。しばらく考えてから神様に質問をした。「それじゃあ、私が不幸を願えば、向かいの二倍だけ不幸になるのですか?」「そうだ。その通りだ」「わかりました。では、神様、私の片眼をつぶしてください」【座右の寓話より】

自分も不幸になったが、向かいの肉屋の主人が自分よりもっと不幸になったのだから、自分は相対的に幸福になったと考えた寓話、バカげた話である。



教訓

私たちは他人の不幸を喜び傾向を持っている。なぜかと言えば、自分の幸福度合いを、他人の幸福度合いと比べて判断するからである。

この寓話から学ぶべき教訓は、自分の不幸と、他人の不幸を切り離すことが肝要ということである。

自分が幸せになれるかどうかの責任は自分自身にあり、ある人が幸せになるかどうかの責任は、その人以外の人にはない。